

まちかど

アルバム



話題のB級グルメが集結

パレットとっとり

全国各地の安くてうまいご当地グルメ、いわゆるB級グルメが一堂に会する「鳥取B級グルメ横丁」が3月6日（土）、弥生町の「パレットとっとり」とその周辺で開催されました。B級グルメの祭典「B-1グランプリ」で2度優勝した静岡県富士宮市の「富士宮やきそば」や、2006年から3年連続準優勝の青森県八戸市の「せんべい汁」などがお目見え。鳥取市からは「スラーメン」や「とうふちくわ膳」などが出品されました。このイベントは、7日（日）と13日（土）、14日（日）にも開催され、大勢の家族連れらでにぎわいました。

音楽大好き「えりじゅ」の演奏会

福部町子育て支援センター

平成12年に結成され、市内で活動する音楽グループ「えりじゅ」が2月26日（金）、福部町子育て支援センターで演奏会を行いました。この日は「うれしいひなまつり」や「さんぽ」など、子どもたちの大好きな5曲を演奏。参加した親子は、演奏に合わせてリズムを取ったり、一緒に歌ったりしました。演奏後、メンバーが「みなさんが楽しそうに聴いてくれたので、私たちも楽しく演奏できました」とあいさつ。今後の活動の励みになったようです。



豊作ワカメに株主ホクホク

船磯漁港

2月21日（日）、気高町八束水の船磯漁港で「ワカメ収穫祭」が行われました。1口2千円でロープにびっしり生えたワカメを50％分刈り取ることができる「ワカメ株主」の収穫体験や、ワカメ汁の無料サービス、地元産野菜の直売などがあり、大勢の人でにぎわいました。今年は特に豊作で、株主は背丈を超えるワカメを袋に詰めるのに四苦八苦。ワカメがたくさん入った袋を提げて、うれしそうに会場を後にしました。

春から一緒に通おうね

こじか園

今春、小学校に入学するこじか園5歳児と鹿野小学校5年生が3月2日（火）、こじか園で交流しました。最初は遠慮気味の児童でしたが、ペアになって自己紹介をしたり、おんぶりレーや縄跳びを一緒に楽しんだりするうちに、すっかりお兄さん、お姉さんの表情に…。最後はしっかりと手を握って、声をかけながら園児をリードしていました。



アフリカの子どもたちに読書の喜びを

市立中央図書館

昨年12月に引退した移動図書館車「2代目なかよし号」が南アフリカ共和国に寄贈されることとなり、2月18日(木)、中央図書館で受け渡し式がありました。式では、同国に図書館車を送る活動を行っているNPO法人「南アフリカ初等教育支援の会」の委託を受けた搬送業者に譲渡証明書が手渡された後、職員が手を振ってなかよし号を見送りました。7月には全国から集められた他の図書館車と共に船で輸送され、第2の人生をスタートさせます。



受け継がれる匠の技

佐治歴史民俗資料館

佐治歴史民俗資料館で「ふるさとの伝統工芸を匠に学ぶ～板笠づくりに挑戦～」と題した講座が全3回の日程で開催されました。講師を務めたのは、板笠作りの伝承者、山口敏さん(佐治町中)と遠藤君江さん(佐治町柄原)。最終回となる3月2日(火)は、地元の女性8人が参加し、板笠の編み込みに挑戦しました。参加者のみなさんは「難しくてくじけそうです」と言いながらも、根気よく製作を続けていました。



熱々の「おいり」作り

河原地区公民館

ひな祭りを間近に控えた2月27日(土)、河原地区公民館でおいり作りが行われました。教室には、地元の小学生など37人が参加。ポン菓子製造機の「ドカン」という大きな音に大はしゃぎした後は、はじけたお米に熱々の水あめを絡め、手早く丸めて完成させました。児童たちは、おいりのほかにも黒豆を材料にしためずらしいポン菓子も作って、昔ながらの素朴な味わいを楽しみました。

ふれあいを大切にしています

新町通り



新鮮な野菜や手作りのみそなどを買い求めていました。朝市は毎月第3土曜日の午前9時から。

2月20日(土)、新町通りで恒例の「朝のふれあい市」が開催されました。これは、商店街を活性化しようと新町通商店街振興組合が平成17年から始めた取り組みで、今年で6年目。昨年3月に組合は解散しましたが、地元で生花店を営む眞先信男さんが世話役となって続けています。この日も、手押し車のお年寄りや近所の主婦らが訪れ、

壁飾りで春を先取り

国府町中央公民館



は、デリケートな花を傷めないよう慎重に作業し、約2時間かけて色とりどりの壁飾りを完成させました。参加者の家には、一足早い春が訪れそうです。

3月3日(水)、国府町中央公民館でフラワーアレンジメント教室が開催され、地元の女性12人が参加しました。この日使われたのは、特殊加工により長期間、生花のような美しさを保つプリザーブドフラワーです。受講生たちは、